第 4 回住用地区学校統合準備委員会　会議禄（要約）

1　【各部会からの報告】

総務部会では、校章制作の進捗及び学校跡地利用アンケートについて確認した。学校運営部会では、住用学園の学校経営方針、グランドデザイン、学校行事、児童生徒数や教員配置等について協議した。PTA 部会では、会費を年額 3,000 円とする案や初年度予算案を取りまとめた。制服のデザイン及び導入時期については、引き続き協議することとなった。

2　【新しい学校の校章デザイン】

制作業者から、アマミセイシカをモチーフとした A 案「四つの歩みを一つの未来へ」、森やマングローブを表現した B 案「森に学び、未来を育む」、14 集落とメヒルギを表現した C 案「地域に根ざし、未来に広がる」の 3 案が示された。協議の結果、子どもたちにも親しみやすく視認性が高いことなどから、A 案を基本形とする方向で確認した。今後、輪郭の明確化、「住」等の文字の追加、緑色や花びらの形状、文字の配置等について、事務局が業者と調整する。著作権については、契約書及び仕様書に必要事項を明記している旨、事務局から説明があった。

3　【学校跡地利用アンケート】

アンケートの回答は 17 件であった。住民の活力向上や地域活性化につながる施設、災害時の避難場所としての活用を望む意見が挙げられた。今後は、個人だけでなく各集落や子どもたちの意見も聞き取ることとした。跡地の管理方法や民間活用については、まず地域住民の意見・要望を把握した上で、民間提案等も選択肢として検討する方針が示された。

4　【住民説明会の実施結果】

10 月 21 日から 23 日までの 3 日間、住民説明会を開催した。学校跡地の利活用、地域と学校のつながり、学校関係資料の保存、卒業生・OB への周知等について意見が出された。また、スクールバスの運行時間や部活動時の対応、学童保育、制服等、保護者の関心が高い事項について、今後具体的な検討・説明を進める必要がある。

5　【校歌制作ワークショップ】

10 月 26 日から 28 日まで各学校でワークショップを実施した。子どもたちは、登校時の風景や学校生活で楽しいことなどを言葉にし、三線に合わせて歌う活動を行った。年内に作詞・作曲を進め、年明けに録音・歌唱指導を予定している。完成した歌詞・曲は、児童生徒に渡す前に準備委員会で確認し、委員にも事前配布する方向である。

【今後の主な対応】

校章は A 案を基に業者と修正協議を行い、次回以降の委員会で確認する。学校跡地については、集落・住民・子どもたちの意見を継続して聴取する。住民説明会で出された通学・学校生活に関する課題を整理し、必要に応じて保護者への説明機会を設ける。校歌は完成前に準備委員会で内容を確認する。